



令和3年度 学校だより

第21号

篠津原野に雲晴れて

【前文】先人の熱いころを受け継いでふるさとに生きる力を育む

【教育目標】

真理を探究する人
友情を大切にする人
創造し実践する人
健康で明朗な人

【教育推進スローガン】
自立・感謝

目標の実現に向けて、
挑戦し続ける子どもを育む

校長 吉本 浩志

本村のみならず全道各地で記録的な大雪に見舞われた今年の冬でしたが、校長室から見える景色は、春の訪れを確実に感じさせてくれます。グラウンドは、本校業務主事及び保護者による除雪・融雪作業により、本格的な春を待ちきれない芝生が顔を出しています。子どもたちの教育環境整備に尽力してくださる全ての方々に感謝するとともに、令和4年度に向けて、新たな挑戦への思いが湧いてきます。

先日、32名の子どもたちが学び舎を巣立っていきました。全校一体となって取り組む活動場面が多い本校にとって、最高学年である3年生の果たすべき役割は大きいです。コロナ禍にあつて、た



くさんの制約、対応が求められる中でしたが、「できることを最大限に」とポジティブに考え、全校をリードしていた卒業生の功績は計り知れません。本校での3年間、さらには義務教育9年間での学びから得た力を、自身の夢の実現に向けて、更に高めたいと願っています。

さて、本日の修了式では、子どもたちに次のような話をしました。

今日で令和3年度が終了します。目標を持って毎日の生活を送ることができましたか。他の人から見るとちっぽけな目標でもいいですし、目標が途中で変わってもかまいません。大切なのは、自分で考え、その達成に向けて、うまくいかなくてもあきらめず努力し続けることです。

「私は何度も何度も失敗した。それが、私が成功した理由だ」

「何かを始めるのは怖いことではない。怖いのは何も始めないことだ」

これは、「バスケットの神様」と言われたマイケル・ジョーダン選手が、



北を味わうことになった試合の数々。そんな苦しい時期もあった彼が、粘り強く、ひたむきに努力し続けた結果、スーパースターへと変貌を遂げるのです。

明日からは、皆さんにとって節目となる春休みを迎えます。自分と向き合い、未来に目を向ける約2週間にしてください。「今年度1年間で成長した点は何か、課題は何か」

「1年後、自分はどんな姿でありたいのか」「その実現のために4月から何をがんばるのか」。自分に問いかけながら、心の中を整理してみてください。



最後になりましたが、お子さまの進級、誠におめでとうございます。春を迎え、徐々に忙しくなってくる頃かとは思いますが、子どもとの対

引退の時に述べていた言葉です。試合に出ることはおろか、ベンチに入ることすらできなかった少年時代。試合に出ても自分のミスが原因で敗

話を大切にして、子ども自らが自己決定できる力を身につけられるようサポートしていただければ幸いです。今後とも、本校の教育活動に対し、変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。度最後のご挨拶といたします。

今の思いを伝えたい...卒業生喜びと別れの言葉

3月12日(土)、第56回卒業証書授与式を行いました。32名の卒業生は皆、凛とした面持ちで式に臨みました。3年前の入学式の時とくらべ、心も体も大きく成長した卒業生。立姿、歩く姿、証書を受け取る姿:どれも本場に立派で、在校生たちの範となるものばかりでした。

次の文章は、卒業生代表である〇君の「喜びと別れのことば」です。卒業の実感と惜別、周囲の方々への感謝が綴られています。とりわけ、中学校生活の2/3はコロナ禍であったものの、そのことから

「日常」のありがたみを実感したという思いが強く述べられた、聞く者の心に沁みるスピーチでした。



やわらかな日差しがそぐこの頃、春の訪れを感じます。
 本日は、私たちのためにこのような式を挙行してくださり心より感謝申し上げます。先生方をはじめ、来賓、保護者の皆様に御臨席いただく中で卒業できることに、卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。
 この三年間多くのことを学び、様々な思い出もできました。今日は卒業生を代表して、今の思いを伝えたいと思います。

小学校のとき私達は先生方に迷惑をかけてしまうことが多く、雰囲気もあまり良くありませんでした。中学校に上がり様々な日常活動や行事を経て、本当に多くの人に支えられ、少しずつですがここまで成長することができました。

修学旅行では、一人ひとりがやるべきことを理解し、行動に移すことができました。
 体育祭は、試行錯誤を繰り返した、考えながら練習を進めていきました。どちらが勝つか最後までわからない最高の体育祭になりました。

学校祭では毎日計画的に準備を進め、全員で力を合わせたことで目標を達成することができました。
 どの場面も協力し合って乗り越えたことで協調性や視野の広さ、クラスとしての一体感を深めることができました。

先生方は、私達が困っているとき共に悩み、私達が自分の手で解決できるように、的確なアドバイスをしてくださいました。私達が間違っていたことをしてしまったときには叱ってくださり、時には友達のように笑い合っただけでもありました。

特に三根先生には二年間担任としてお世話になりました。「志高く」と題した学級便り、学級日誌や家庭学習調べなどで私たちの力を伸ばそうとしてくださいました。一人ひとりの変化に気づき、言葉で伝えてくれた時には親身になって相談に乗ってくださり、本当にうれしかったです。

最初のころは叱られることが多く、正直納得できずに不満を持ってしまったりもありました。しかしある時、叱られるのは期待されているからだということを聞き、頑張ろうと思うことができました。そして、担任の先生、委員会や部の顧問として一緒に毎日過ごしていくうち、三根先生がどれだけ私達のために動いているかを知ることができました。今となっては感謝の一言です。

在校生のみなさん、心温まる言葉をいただきありがとうございます。皆さんの手本となる頼れる先輩になれていたでしょうか。私達は行事や部活などいろいろな場面で、二年生に助けられました。様々なサポートをしてくれてありがとうございます。

多くの活動が新型コロナウイルスの影響により制限されている中、何気ない日常は当たり前ではないことを実感します。会いたい人に会えること、大切な人を大切にすること、支えてくれた人に感謝を思いきって伝えることが、いかに尊く素晴らしいことか。今できることは自分の思いを言葉で相手に伝え、精一杯「今」を生きていくことだと、私達は気づきました。

ですから在校生のみなさん、「今」を大切にしてください。やらずに後悔よりやっつけ後悔ぐらいの気持ちで、新たなことに挑戦してください。

地域の皆様には、給食やスクールバス、校外活動など多種多様な場面でもお世話になりました。ありがとうございました。ありがとうございました。

そして保護者の皆さん、これまで支えてくださったおかげで、無事に卒業の日を迎えることができました。

きょう私達の背中はどう見えていたでしょうか。三年前、入学した時よりも広くたくましくなっているのでしょうか。迷惑をかけ、わがままを言ってしまったこともありましたが、だんは照れくさくて言えないです。いつも感謝しています。これまでに十五年間いつも温かく見守ってくれてありがとうございます。

私達もいつか自立し、親元を離れていきますがそれまでもうしばらくお世話になります。恩返しできるように、そして夢をかなえられるように、頑張っていきます。

最後に三年生のみんな、「また明日ね」と言い合えるその明日がもう来ないと思うととても悲しくなります。くだらないことで笑い合い、苦しい時に寄り添ってくれたからこそ、これまでいろいろなことに頑張ることができました。今まで本当にありがとうございました。できることならまたどこかで、三十二人で集まりましょう。

これから私達はそれぞれの進路に向けて進んでいきます。これから



変わらぬ御指導を賜りますようお願い申し上げます。新篠津中学校のますますの御発展を心より祈念して、私達のことばをいたします。

令和四年三月十二日

新篠津村立新篠津中学校
 第五十六回卒業生代表 ○ ○ ○

式の後には、担任、3年部の先生方と卒業生による、「中学校最後の学活」でした。時間を惜しみながら、別れの時を大切に過ごしました。

バス通学の生徒にとつて9年間の感謝の気持ちを運転手の方々に伝える「バス・セレモニー」。代表生徒の感謝の言葉とともに、お世話になった2人の運転手さんに花束が手渡されました。

当日は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に施し、安全と安心を確保しつつ、卒業証書授与式を挙行了しました。石塚村長様、藤永村議会議長様、荒谷教育長様、





市村PTA会長様のご臨席を賜わり、石塚様と市村様から心温まるご祝辞をいただきました。その内容につきましては、配布した「卒業のしおり」に掲載させていただきました。

**満を持しての熱演光る！
2学年演劇発表**

学校だより前号でご案内した2学年演劇発表会は、1・3学年生徒、教職員、2学年保護者の見守る中、予定通り3月7日（月）に行いました。

学校祭準備期間ではなかったため、生徒たちの練習期間は極めて少なかったものの、集中力は非常に高く、9月からの取り組みを通して最高の発表でした。コロナ禍で声援を送ることはできませんが、閉幕と同時に、会場は盛大な拍手に包まれました。

発表後に、2学年演劇責任者の盛田さんに感想を伝えると、「ありがとうございます！凄く手ごたえがありました！」と満面の笑顔で気持ちを話してくれました。

2年生はあと半月足らずで3年生へと進級します。今回の演劇の取り組み

転出者・退職者のご挨拶

今回の教職員人事で3名の教職員が異動し、3名の教職員が退職することとなりました。6名の教職員による生徒、保護者、地域の皆様へのご挨拶を掲載します。なお、24日（木）の午後、村P連を代表して本校PTA市村会長がご来校し、転出・退職する教職員に花束と記念品を贈られました。

学習支援員の福山和彦先生は、4月から小学校の配置となりますが、引き続き小中学校の教育のためにご尽力いただきます。

今年度もコロナ禍の状況下での学校運営となりました。そのため一部行事の縮小や中止の判断を行いながら、生徒・教職員の「安全と安心」を最優先に、「学びを止めない」よう進めて参りました。保護者、地域の皆様には、日頃からご理解とご協力を頂き、心より感謝しております。

令和4年度につきましても、「めざす子ども像」を念頭に置き、教育目標の実現に邁進していきます。引き続きよろしく、お願い申し上げます。

今年度の学校運営へのご理解・ご協力
ありがとうございます

を見ていて、最高学年としての活躍が楽しみになりました。

岡山 拓 教頭 (4年間勤務・石狩市立厚田学園に校長採用)

新篠津に深いご縁を感じながら勤めさせていただきました。子どもたちの純粋さと可能性、保護者・地域の皆様の温かさにふれ、本当に幸せでした。

新篠津は「青空、緑、地平線。他に何もない贅沢」とうたっていますが、私は新篠津のことをこんな風に考えています。ここには、道端ですれ違ふと必ず挨拶を交わす人々がいます。ここには、村の子どもたちの名前を言える子育てを終えた世代の人々がいます。ここには、近所の老人宅の除雪について自分ゴトとして気にかける人々がいます。人と人が繋がり助け合う素敵な文化や生活習慣があると気づくことができるのです。

心残りは1度しか「青空まつり」に参加できなかったこと。ここに住んでいる者として、全力で楽しみたいと改めて思います。世界を取り巻く薄霧が晴れ、「青空まつり」が再び実施できることを心から願います。

4年間大変お世話になり、本当にありがとうございました。また、いつかどこかで皆様とお会いできることを楽しみにしております。

手嶋 和之 教諭 (2年間勤務・退職)

定年退職前の最後の2年間を、この学校で過ごすことができ大変幸運に感じています。2年前のコロナ休校から始まり、顔をマスクで半分隠したままの学校生活でしたが、優しく素直な子どもたちに心を癒されながら、毎日、楽しく過ごすことができました。地域や保護者の皆様とは、なかなか対面してお話しする機会もなく過ぎてしまいましたが、学校をどうにか盛り上げたいという皆様の気持ちは、行事に制限のある中でも素晴らしいと感じていました。

退職後も何かしらの活動を社会の中でしていくつもりですが、ご縁がありましたらお声をかけていただければ嬉しいです。

コロナ禍やウクライナ情勢など、先行き不安なことの多いご時世ですが、生徒の皆さんの平和で幸せな未来と、保護者・地域の皆様のご活躍をお祈りしています。短い間でしたが本当にありがとうございました。

菅 大典 教諭 (5年間勤務・退職)

36年間の教員生活の締めくくりが新篠津中学校ということで、何よりありがたく、光栄に感じています。

お陰様で心地よく勤務できた5年間でしたが、いろいろ様子がつかめてきた後半はコロナ禍に見舞われ、そこから先は何かと思っていたような具合にはいきませんでした。それでも生徒の健やかな成長のためにできることは何でもするという村ぐるみの徹底した姿勢には今も頭が下がるばかりです。

まだまだ予断を許さぬ状況は続くかと思いますが、生徒の皆さんと保護者・地域の皆様のご健康を今後もお祈りします。時々お米も買いに来ます。お世話になり、本当にありがとうございました。

神尾 学 事務主幹 (5年間勤務・退職)

さて、この3月末をもって、学校事務職員としての教職員生活にピリオドをうつことにしました。「歳月人を待たず」、「光陰矢の如し」というようにあっという間に36年5カ月の歳月が過ぎ去ってしまったというのが今の実感です。

自分としては、まさか学校事務職員として定年退職を迎えるとは思っていませんでしたので、自分でも驚いています。

檜山管内においては、北檜山町と上ノ国町の2校で8年5カ月、石狩管内では、石狩市浜益区(旧浜益村)・江別市・恵庭市・新篠津村の6校で28年間、勤務させていただきました。振り返ってみると、楽しいことも辛いことも色々ありましたが、今となっては、大変懐かしい思い出です。

新篠津村では、学校に協力的な保護者の皆さん、そして、素直で明るく元気で、何事にも一生懸命に取り組む生徒の姿を見守りながら、5年間勤務させていただきました。これからも子どもたちの健やかな成長のために保護者の皆さんのご支援ご協力をお願い致します。

最後になりますが、色々とお世話になった皆様方に心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。また、何処かでお会いすることを楽しみにしています。

中村 悠子 教諭 (7年間勤務・北広島市立広葉中学校に異動)

7年前、赴任した年の小中交流授業で訪れた小学校で見たかわいい小1児童たちは、7年の時を経て中学生になり、私が担任をするかわいい生徒になりました。時の流れは本当に早く、めぐりあわせとは奇妙なものです。その間に、2回も卒業担任をさせていただき、250人近くの子どもたちと関わることができました。どの生徒も「素直でやさしくていい子」たちばかりで、一緒に過ごした日々、授業や行事で感じた成長など、素敵な思い出が残っていません。そして、その後ろには、いつもパワフルであたたかい保護者の方々の姿がありました。本校の教育活動への理解、家庭での子どもたちへのサポートなど、保護者の方とも一緒になって子どもたちを育てていることを強く実感することが多くありました。この7年を経て、“子どもというのは誰のものではなく、みんなの大事な子どもだから、教師・保護者・地域の方々といった周りの大人みんなが育てていくんだ”という気持ちは強くなり、その考えは今後の私の教員としての根幹をなすものとなりました。

…数々の洗礼を受けた小中合同送別会で直接お礼の言葉をお伝えすることができないのが残念でありませんが、7年間、本当にありがとうございました。子どもたちの成長、保護者の皆様のご健康と、この村の益々の発展を願っています。本当にお世話になりました。次の場所でも頑張ります！

森野 美穂 教諭 (3年間勤務・北海道立手稲養護三角山分校に異動)

3年前の赴任で美しい村の風景に感激したことが、まるで昨日のこのように感じます。

保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。学校行事や地域の行事などで、温かいお言葉をかけていただきありがとうございました。また、生徒たちの素直で、頑張りやの姿に励まされることが多くありました。これも、子どもたちの成長を信じて全力でサポートしてくださる保護者のみなさまのおかげだと思っています。心より、感謝申し上げます。私自身、至らぬ点多々ありましたが、新篠津中で過ごした日々は本当に幸せでした。新篠津中学校を離れることとなり寂しい気持ちでいっぱいですが、あたたかな思い出を胸に、前へ進んでいきたいと思えます。これからも生徒の皆さんの健やかな成長と保護者・地域の皆様のご健康をお祈りしています。3年間お世話になり、本当にありがとうございました。

佐藤 美紀 さん (4年間勤務・役場に異動)

4年前に本校に着任した時に、中学生のみなさんから気持ちの良いあいさつをしていただきました。私も新たな気持ちで頑張ろうと思ったことが、昨日のように思い返されます。体育祭や学校祭など様々な行事での様子や、日頃の活躍の姿を間近に見ることができ、幸せな毎日でした。生徒さんのために何かをする、というよりは、逆にエネルギーを貰えたような気がしています。生徒のみなさん、そして保護者・地域のみなさん、本当にありがとうございました。

4月からは別の場所でお仕事をする事になりました。新篠津村での勤務なので、生徒さんや地域の皆様とは、またどこかでお会いすることもあると思います。中学校で過ごした時間を大切に、新たな場所でまた頑張ろうと思います。これからもどうぞよろしくお祈りします。

令和4年4月(～16日)・行事予定表

日	曜	学校行事	部活	給食	スクールバス			日	曜	学校行事	部活	給食	スクールバス		
					1便	2便	特別便						1便	2便	特別便
1	金	年度始休業～4/5						9	土						
2	土							10	日						
3	日							11	月	発育測定	○	○	15:40②	17:30②	-
4	月	諸会議						12	火	朝会	○	○	15:40②	17:30②	-
5	火	職員会議 校内研修						13	水	NRT標準学力検査 職員会議 校内研修 安全点検日	×	○	14:25③	-	-
6	水	着任式・1学期始業式 入学式	×	弁	15:30②	-	-	14	木		○	○	15:40②	17:30②	-
7	木	知能検査(1年)	○	○	15:40②	17:30②	-	15	金	新教研全体研修会	○	○	13:25②	-	-
8	金	対面式	○	○	15:40②	17:30②	-	16	土	土曜授業① 参観日 学校説明会 PTA総会	×	×	10:30②	-	-